

# 外皮（開口部以外）の確認方法

(標準計算)2-9

- 工事施工者から提出される施工記録書（施工写真を含む。以下同じ。）や納入伝票等により、使用される材料等が設計図書等に定める仕様及び施工方法に適合していることを確認します。
- 必要に応じ、材料の初期納入時に立会い、使用材料が指定材料であることを製品・納品書・カタログ等に記載された認証マークにより確認し、工事施工者から提出される施工写真等や、施工状況の立会い確認等を行います。

時期	確認項目	具体的な確認方法
納入前	適用ルート、監理範囲等	設計図書等（求積図等の床面積）に係る書類確認
材料納入時	材質、厚さ等	—
施工後	施工状況等	目視に係る立会い確認、施工記録書等に係る書類確認

断熱材の確認の例：熱貫流率計算書との整合確認を行います

The screenshot shows a mobile application interface. On the left, there is a specification sheet for a material labeled "Excellence for Ecology". It includes details like "A種 油圧法ポリスチレンフォーム保溫材 3種類 TC 03 07 450 JIS A9511" and a note about fire resistance. Two red boxes highlight "チェックポイント 2.2.1-4 部位の熱貫流率" (Checkpoint 2.2.1-4: Thermal conductivity of the part). On the right, there is a table titled "1) 面積比による部位熱貫流率" (Area ratio method for part heat transfer coefficient). The table lists various materials with their thermal conductivities and area ratios. A yellow box highlights "2.2.1-4 部位の熱貫流率" (Checkpoint 2.2.1-4: Thermal conductivity of the part) and "計算対象となる部位の構成や工法などを確認する" (Check the composition and construction methods of the parts to be calculated).

137

# 外皮（開口部）の確認方法

(標準計算)2-15

- 工事施工者から提出される納入伝票等により、使用される開口部が設計図書等に記載する、開口部の熱性能を求める方法に応じた仕様等に適合していることを確認します。
- ガラスに関しては、ガラス建築確認記号やガラスの熱性能等を記載したラベルが、ガラス面に直接貼り付けられている場合もあるため、完了検査を受けるまで当該ラベルを残しておくことが望ましい。

時期	確認項目	具体的な確認方法
納入前	適用ルート等	設計図書等に係る書類確認（開口部の熱性能を求める方法など）
材料納入時	材質、寸法、仕様等	目視に係る立会い確認、納入伝票等に係る書類確認
施工後	施工状況等	目視・計測に係る立会い確認

開口部の納入仕様書の例：外皮計算に用いた仕様との整合確認を行います

The screenshot shows a mobile application interface. On the left, there is a specification sheet for an opening detail. It includes dimensions (width: 350, height: 500), material (ガラス), and notes (ガラスの仕様: Ug=1.9, η=0.67). Two red boxes highlight "チェックポイント 2.1-11, 19 ガラスの仕様" (Checkpoint 2.1-11, 19: Glass specification) and "チェックポイント 2.1-13 ガラス熱貫流率 2.1-21 ガラス日射熱取得率" (Checkpoint 2.1-13: Glass heat transfer coefficient 2.1-21: Glass solar heat gain coefficient). On the right, there is a detailed calculation table titled "外部開口部リスト2021年版 (兼 製品保証及び納入明細書)" (External opening list 2021 edition (including product warranty and delivery details)). The table contains numerous rows of data, with a red box highlighting "チェックポイント 【設計図書等の窓の熱性能の値と一致していることを確認】" (Checkpoint [Confirm that the values in the design drawings and other documents match the performance values of the windows]).

138

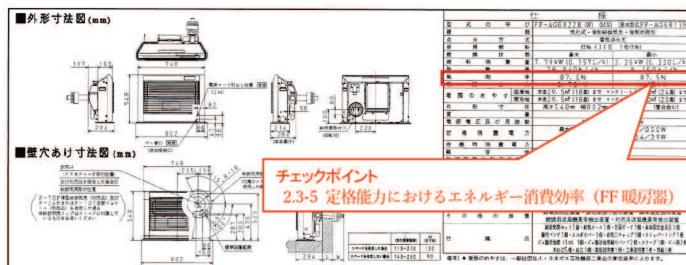
# 設備（暖冷房）の確認方法

(標準計算)2-21

- 工事施工者から提出される**暖冷房設備機器の納入仕様書等**により、設置される暖房設備機器が設計図書等に記載する種類、型番等に適合していること又は必要な性能を有していることを確認します。
- なお、設計図書で竣工後に入居者が暖房設備を設置すると記載されている場合、完了検査時点で暖房設備が設置されていないことを確認することとなるため、注意する必要があります。

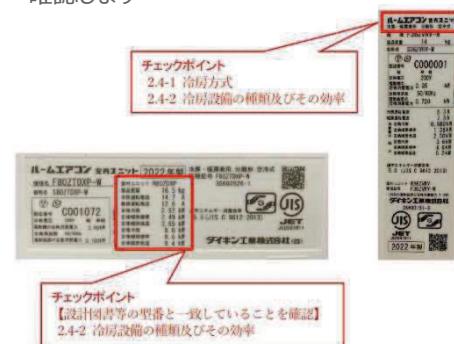
時期	確認項目	具体的な確認方法
納入前	暖房設備の種類等	設計図書等に係る書類確認（対象となる暖房設備の確認）
材料納入時	機器種類、能力等	納入伝票等に係る書類確認
施工後	施工状況等	目視に係る立会い確認

FF暖房機の例：Webプログラムに効率を入力して評価している場合は、機器の効率を確認します



チェックポイント  
2.3-5 定格能力におけるエネルギー消費効率(FF暖房器)

エアコンの例：設計図書等の種類と効率をを確認します



チェックポイント  
【設計図書等の型番と一致していることを確認】  
2.4-2 冷房設備の種類及びその効率

139

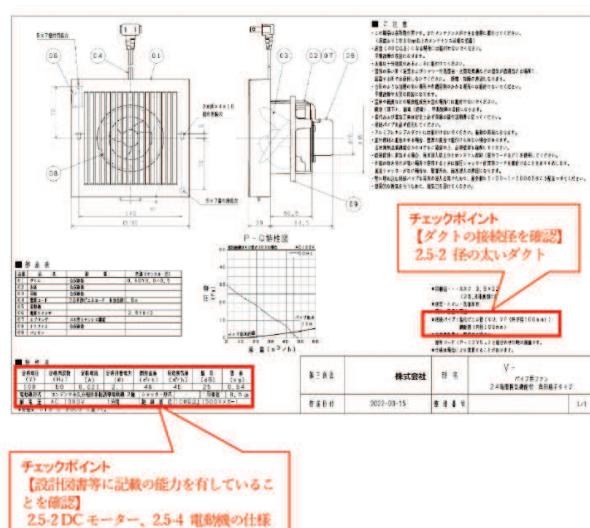
# 設備（換気）の確認方法

(標準計算)2-25

- 工事施工者から提出される**換気設備機器の納入仕様書等**により、設置される換気設備機器が設計図書等に記載する仕様等に適合していることを確認します。

時期	確認項目	具体的な確認方法
納入前	換気設備の種類等	設計図書等に係る書類確認（対象となる換気設備の確認）
材料納入時	機器種類、仕様等	目視に係る立会い確認、納入伝票等に係る書類確認
施工後	施工状況等	目視に係る立会い確認

換気設備（24時間換気設備）の納入仕様書の例  
設計図書等に記載してある、能力、電動機の仕様、ダクトの径を評価している場合はその径を確認します。



チェックポイント  
【設計図書等に記載の能力を有していることを確認】  
2.5-4 電動機の仕様

140

## 設備（給湯機）の確認方法

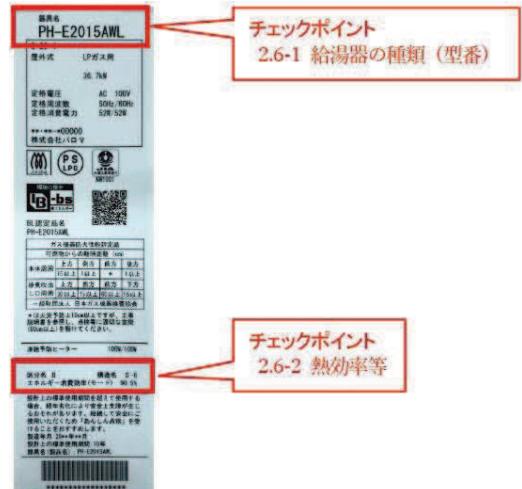
(標準計算)2-29

- 工事施工者から提出される給湯器の納入仕様書等により、設置される給湯器が設計図書等に記載する仕様等に適合していることを確認します。

時期	確認項目	具体的な確認方法
納入前	給湯器の種類等	設計図書等に係る書類確認（対象となる給湯設備の確認）
材料納入時	給湯器種類、熱効率等	目視に係る立会い確認、納入仕様書等に係る書類確認
施工後	施工状況等	目視に係る立会い確認

エコジョーズの納入仕様書の例：

給湯器の種類、熱源機の種類、Webプログラムで  
効率を評価している場合はその値を確認します。



141

## 設備（照明）の確認方法

(標準計算)2-31

- 電球等の部分が隠蔽されている照明設備については工事施工者から提出される照明設備機器の納入仕様書等により、設置される照明設備機器が設計図書等に記載する仕様等に適合していることを確認します。

時期	確認項目	具体的な確認方法
納入前	主たる居室、その他居室、非居室の照明設備の設置の有無等	設計図書等に係る書類確認（対象となる照明設備の確認）
材料納入時	照明器具の種類	目視に係る立会い確認、納入仕様書等に係る書類確認
施工後	施工状況等	目視に係る立会い確認

人感センサーの例：

Webプログラムで人感センサーを評価している場合  
はその仕様を確認します。



142

# 設備（太陽光発電設備）の確認方法

(標準計算)2-32

- 目視や納入仕様書等により確認により行い、パワーコンディショナの品番、太陽電池アレイの仕様などについては工事施工者から提出される納入仕様書等により確認し、太陽光パネルの設置状況に関しては目視、施工図等により設計図書等に適合していることを確認します。

時期	確認項目	具体的な確認方法
納入前	太陽光発電設備の設置の有無	設計図書等に係る書類確認（計算対象となる太陽光発電設備の有無）
材料納入時	パワーコンディショナの品番、太陽電池アレイの仕様など	目視に係る立会い確認、納入仕様書等に係る書類確認
施工後	太陽電池パネルの施工状況等	目視に係る立会い確認

## パワーコンディショナの仕様書の例

屋内屋外兼用マルチストリング型パワーコンディショナ 44.75kW 44.75kWタイプ	VSPC244GM2T VSPC250GM2T	
標準仕様書	準13	
4.電源仕様		
電源入力電圧	DC330V	
電源入力電圧	DC45~460V	
※電源機器接続基板の接続端子は以下のことと規定されています。 したがって、接続する機器の仕様を必ず見て、どちらか一方で「接続・本機器との接続」に記載された仕様に従うことを確認して下さい。 40V(定格出力時)は太陽光電池を静止し、過多入力遮断(U09) U012 U013 U014が発生され、パワーオン/オフは停止します。 40Vを超える値を上に付加して、接続の修理が済ました場合は、実測の値よりとなります。		
入力回路容量	4回路 / 4MPPT 連続開閉可能範囲 ・外部電圧 1W/本機 1W(0.25VA参照) 0.01mΩ 30VA参照	
定格電力	定格出力 ・外部電圧 1W/本機 1W(0.25VA参照) 0.01mΩ 30VA	
※外観は、パワーコンディショナ台体の外観をすべて太陽電池にて構成です。		
4.2 電気仕様説明		
容量	VSPC244GM2T	VSPC250GM2T
定格出力	4.4kW (内部5.0kW) 5.0kW (内部5.0kW)	5.0kW (内部5.0kW) 5.5kW (内部5.5kW)
定格効率	4.5kW/V (内部5.0kW) 5.0kW/V (内部5.0kW) 5.5kW/V (内部5.5kW)	5.0kW/V (内部5.0kW) 5.5kW/V (内部5.5kW) 6.0kW/V (内部6.0kW)
定格出力電流	定格出力電流 DC 35~45A	定格出力電流 DC 35~45A
MPPT動作範囲(範囲)	AC 212V 単相接続時、4.0V~過電圧遮断(遮断)	AC 212V 単相接続時、4.0V~過電圧遮断(遮断)
電源出力電流	電源出力電流 DC 35~45A	電源出力電流 DC 35~45A
電源入力電流	電源入力電流 DC 35~45A	電源入力電流 DC 35~45A
最大電力点検出電圧	最大電力点検出電圧 19.5V~25V	最大電力点検出電圧 19.5V~25V
最大出力電圧	最大出力電圧 33.0 Vdc (内部35.0V)	最大出力電圧 33.0 Vdc (内部35.0V)
定格最大電流	定格最大電流 83.3A(40°C CEC111以上) (1.1倍定格出力時、冷却良好時)	定格最大電流 83.3A(40°C CEC111以上) (1.1倍定格出力時、冷却良好時)
外部電圧変動範囲(範囲)	外部電圧変動範囲 33.0~1.00倍定格電圧 33.0~1.00倍定格電圧 (0.0Vまで可変) 出力制御範囲	外部電圧変動範囲 33.0~1.00倍定格電圧 33.0~1.00倍定格電圧 (0.0Vまで可変) 出力制御範囲
定格電流変動範囲	定格電流変動範囲 絶対値以下、ある範囲内で	定格電流変動範囲 絶対値以下、ある範囲内で
連系運転範囲	連系運転範囲 過負荷遮断 OHK、UV保護遮断による 過熱遮断 OHK、UV保護遮断による	連系運転範囲 過負荷遮断 OHK、UV保護遮断による 過熱遮断 OHK、UV保護遮断による
定入電流	定入電流 なし	定入電流 なし
余裕電流	余裕電流 なし	余裕電流 なし
過負荷	過負荷遮断 OHK遮断による 過熱遮断 OHK遮断による	過負荷遮断 OHK遮断による 過熱遮断 OHK遮断による
※最大入力動作可能範囲 より大きい 外部電圧 外部電流 システム接続時の太陽光パネルの短絡電流を想定した電流値です。接続する太陽電池の短絡電流 はこの値を下限してください。		

143

## 完了検査

### 【適判を受ける場合】完了検査申請時に必要な図書等

- 省エネ基準に係る工事監理の実施状況に関する報告書（省エネ基準工事監理報告書）
- 当初の省エネ適判に要した図書（設計内容説明書、各種図面、各種計算書、機器表等）

以下に該当する場合はその図書

大臣認定を取得している場合	当初の大臣認定に要した図書
性能向上計画認定を取得している場合	当初の性能向上計画認定に要した図書（複数建築物の認定の場合、完了検査の対象となる申請建築物の図書のみで可。）
低炭素認定を受けている場合	当初の低炭素認定申請に要した図書

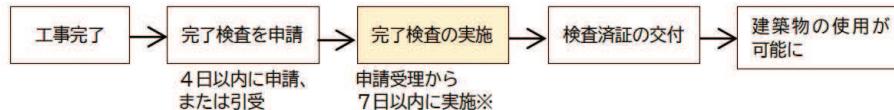
- 納入仕様書・品質証明書、施工記録書等（現場備付）

144

# 完了検査

工事完了の段階で、建築主事または指定確認検査機関の完了検査を受ける必要があります。

- ・建築主事の場合：工事が完了した日から、4日以内に申請
- ・指定確認検査機関の場合：工事が完了した日から、4日以内に申請を引受があります。



※建築主事の場合。指定確認検査機関による完了検査は、工事完了日または完了検査申請受理日のいずれか遅い方から7日以内に実施されます。

省エネ基準は建築基準関係規定であるため、省エネ基準への適合についても、完了検査の対象となります。

建築基準法施行規則第4条第1項

完了検査申請書	規則 別記第19号様式
	当初の建築確認及び計画変更確認に要した図書及び書類 (全て同じ機関で建築確認を受けた場合添付不要)【第1号】
	都市緑地法43条1項の認定(緑化率規制を受ける場合の工事完了猶予)を受ける場合、認定書の写し【第3号】
	エネルギー消費性能適合性判定に要した図書及び書類(法適合の内容に応じた添付書類)【第4号】
	軽微な変更説明書(直前の確認済証交付以降に生じた軽微な変更について作成)【第5号】
	特定行政庁が工事監理の状況を把握するために必要として規則で定める書類【第6号】
	委任状(代理者※による検査の申請を行う場合)【第7号】

※ 代理者は、建築士(建築士法第2条)または行政書士(行政書士法第1条の3)に限ります。

145

# 完了検査

(標準計算)2-38

完了検査申請を行う際は、**申請書に省エネ基準に係る工事監理の実施状況に関する報告書（省エネ基準工事監理報告書）を添付**する必要があります。

右は参考様式です。

なお、特定行政庁によっては、別途、様式を定めていることもあるため、実際の完了検査申請を行う際には、事前に、特定行政庁や指定確認検査機関に確認してください。

省エネ基準工事監理報告書（標準計算）			
令和 年 月 日			
工事の監理状況を報告します。 この監理報告書及び施行基準に記載の事項は、事実に相違ありません。			
工事監理者			
物件概要			
建 築 物	構 造 方 式	開 け る 部 分	面積(㎡)
一 般 的 な 情 境			
新 建 の 地 点			
報告内容(以下の項目について申請図書の通り施工されたことを報告します。)			
1. 基本情報	構 造 方 式	開 け る 部 分	面積(㎡)
① 建て方、用意の構造等	A→B→C	■	■
② 施工標準(主たる部屋、その他の部屋、床面積合計、柱面積)	A→B→C	■	■
2. 外観	構 造 方 式	開 け る 部 分	面積(㎡)
③ 特別な外観となる部屋、面積	A→B→C	■	■
④ 特別な外観となる部屋、外観等の特徴の仕様、熱貫流率	A→B→C	■	■
⑤ 建て方、新築の床面積(主たる部屋の面積合計を含む)	A→B→C	■	■
⑥ 建て方、新築の外観構造の仕様、範囲(改修コンクリート塗装の場合)	A→B→C	■	■
⑦ 施工標準等の基礎の形状、範囲等	A→B→C	■	■
3. 建設設備	構 造 方 式	開 け る 部 分	面積(㎡)
⑧ 建設設備、新規設備の種類	A→B→C	■	■
⑨ 建設設備等の仕様、性能	A→B→C	■	■
⑩ 建設設備等の施工状況	A→B→C	■	■
4. 施工方法	構 造 方 式	開 け る 部 分	面積(㎡)
⑪ 施工方法、新規設備等の種類	A→B→C	■	■
⑫ 施工方法等の仕様、性能	A→B→C	■	■
⑬ 施工方法等の施工状況	A→B→C	■	■
5. 施工結果	構 造 方 式	開 け る 部 分	面積(㎡)
⑭ 施工方法、各別新規設備の種類	A→B→C	■	■
⑮ 施工方法等の仕様、性能	A→B→C	■	■
⑯ 施工方法等の施工状況	A→B→C	■	■
6. その他	構 造 方 式	開 け る 部 分	面積(㎡)
⑰ 申請回数、新規設備、外観、改修の仕様等	A→B→C	■	■
⑱ 主たる部屋、その他の部屋、床面積の相違割合、柱面積の数量比	A→B→C	■	■
7. 附録	構 造 方 式	開 け る 部 分	面積(㎡)
⑲ 申請回数、新規設備、外観、改修の仕様等	A→B→C	■	■
⑳ 主たる部屋、その他の部屋、床面積の相違割合、柱面積の数量比	A→B→C	■	■

## 確認方法

A: 目視による立会確認

B: 計測等による立会い確認

C: 施工計画書等・試験成績書等による確認

146